

キャンピングカー貸し出し

小樽・レンタサイクル店「コタル」来月から

樽商大生がアイデア 農場と連携、ツアーも



貸し出すキャンピングカーを紹介する谷さん

小樽市稲穂のレンタサイクル店「コタル」は、4月からキャンピングカーのレンタル事業を始める。アルバイトとして働く小樽商科大生谷駿之介さんのアイデアを生かし、車だけでなく釣り道具も一緒に貸し出したり、ツアーのプランを提案したりするのが特徴。サービスや料金などは、モニターツアーを行って利用者の意見を踏まえた上で最終決定する。

(谷本雄也)

同店は自転車に乗れない冬の売り上げ確保が課題で、すでに始めているカフェの経営に加え、キャンピングカーのレンタルも検討していた。昨年5月に樽商大4年の谷駿之介さん(22)がアルバイトとして入り、谷さんの趣味がキャンピングカー事業の計画づくりを任せることにした。

谷さんはキャンピングカーの貸し出しに、利用者がアウトドアをより手軽に楽しめるようなサービスを加えることを提案。具体策として、知人が勤める札幌市北区の観光農園「とれた小樽ぶじい農場」と連携し、

同農場が行っているワカサギ釣りや冬キャンプにキャンピングカーで参加するモニターツアーを企画した。

ツアーは日帰りと宿泊の二つで、ワカサギ釣り以外は自由行動。利用後のアンケート結果などを基に、料金やサービス内容を最終決定する。

4月以降もぶじい農場との連携は続けたいと考えて、谷さんは「小樽の海を楽しむなど、ワカサギ釣り以外の組み合わせも増やしていきたい」という。沢井亮佑店長は「若者のアイデアを生かしながら、四季を通じたキャンピングカーの需要も探っていく」と話す。

モニターツアーはワカサギ釣りができる3月中旬ごろまで行う予定。料金は日帰りが7千円、宿泊が9500円(釣り道具のレンタル料なども含む)。いずれも2人目以降は1人につき2千円増額する。申し込みは希望日の3日前までにinfo@cotaru.co.jp。